



【R6 予算額 10百万円】

農林水産部農地局農村計画課企画調整G (029-301-4150)

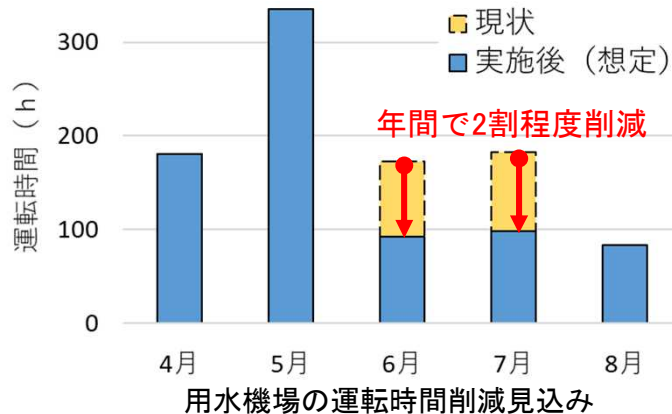
用水機場単位におけるIoTを活用した高度な水管理により、用水ポンプの運転経費削減に取り組む地域への支援及び、担い手農家の水管理労力の削減し、儲かる農業に向けた新たな作付けを推進するとともに、今後のスマート農業の拡大を図ります。

※高度な水管理…IoTを活用して水田の水深等の情報を常時監視することにより、可能な限り少ない用水量により、コメの収量や品質を確保する水管理

- 1 事業主体：土地改良区等
- 2 事業効果：1機場（30ha）当たりの用水ポンプの運転時間を年間で2割程度削減
スマート農業による担い手農家の水管理回数を大幅削減
削減された水管理時間を活用した、新たな作付けによる所得の向上
- 3 補助率：定額（国費 5/10 県費 5/10：農地耕作条件改善事業）
- 4 事業内容：水位・水温センサー、自動給水栓を水田へ導入し、スマートフォン等から遠隔監視を行うことで、水管理労力の削減や、用水ポンプの運転時間の見直しを行う。
また、削減された水管理時間で、新たな作付けを推進する。

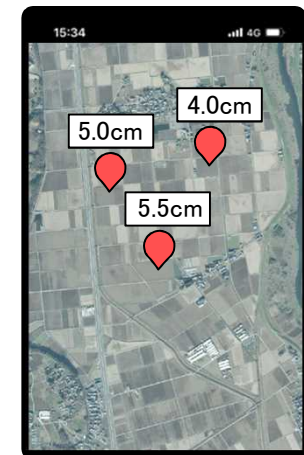


自動給水栓



現地に行かなくても
水位・水温の確認が可能

遠隔監視による水管理労力の削減



スマートフォンによる
水深の遠隔監視画面

5 導入想定地区：4地区